

16

河川名

いわたけがわ

岩岳川水系

岩岳川

特徴・アピールポイントなど

地元や学識者で構成する「岩岳川川づくり懇談会」で整備箇所を選出。平成27年度から川開きの祭典が開催されています。



求菩提地区では、整備が完了したことを契機に、川開きのイベントが行われています。また、近接する岩屋活性化センターの利用者が訪れることもあります。

年に1回、県土で除草を行っているほか、川開き前に河川プールの浚渫を行っています。

求菩提河川公園コンセプト

求菩提地区らしい農村風景のもとで、雄大な求菩提山や周囲の棚田を眺めながら、水辺を楽しめる魅力的な河川空間を創出する。



整備後の姿



平成25年6月

イベント



アユの放流

多自然川づくり

岩岳川は耶馬日田英彦山国定公園にある犬ヶ岳を源流とし、大きな岩が多い上流の山間部を抜け、中流部で放水路により佐井川に放水しています。そこから下流は川幅が狭くなり、田園地域から豊前市の都市部を流下して周防灘に達する河川です。

岩岳川では、「岩岳川川づくり懇談会」で整備箇所を選び、これまでに整備を行った関庵淵や岩屋地区（P62：事例57）とあわせて人と川がふれあえる昔ながらの自然豊かな川づくりを目指しています。

久路土地区は平成9年頃に川づくり懇談会が、「再生プラン」をまとめて、平成15年度より、整備を進めました。場の特徴として、急になっており、直線部の河床は単調でした。

美しく水に親しめる環境の創出することを目指し、伝統的な石積工法を、専門家による現場指導を受けながら整備しました。

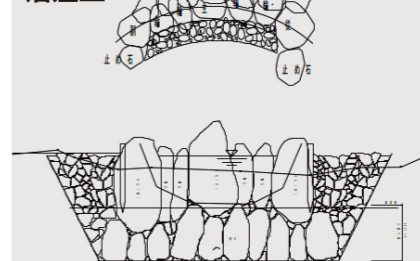
着工前



伝統的な石積工法

その土地にある自然の石を、その石に合わせて積む工法で、大きな石である力石を置き、その間に輪石を組み、かつアーチ状に組み強固な形にする石積工法です。（落差工で使用）

落差工



護岸工（自然石空積み）



整備後の姿

